

10/1  
(日)

## 少年剣士の白熱した戦い

第26回西九州親善少年剣道松浦大会



第26回西九州親善少年剣道松浦大会が、文化会館で4年ぶりに開催されました。

大会は、星鹿バンブーオーケストラの演奏の後、田代少年剣道クラブの松尾大和選手（御厨小学校5年）と田中航士郎選手（御厨小学校5年）の力強い選手宣誓で開幕。恒例のお楽しみ抽選会や松浦松之介の登場もあり、会場は賑わいました。

今大会には佐賀・長崎両県から約60道場、約500人が参加し、小学生と中学生の全学年別による個人戦で白熱した戦いを繰り広げました。

9/30  
(土)

## 児童たちの熱い戦い

第16回松浦地区小補連小学生バレーボール大会



松浦地区少年補導員連絡協議会、松浦市小学生バレーボール連盟主催の同大会が松浦スポーツセンターで開催されました。

この日は、市内の小学校から7チーム約70人の児童が参加し、選手たちはチームメイトや家族からの声援を受けながら熱戦を繰り広げました。

大会の成績は次のとおりです。

**【混合の部】** ①福島②絆

**【女子の部】** ①鷹島②新星

10/7  
~9

## 青島でなぎなた交流合宿

松浦市なぎなたふれあい交流事業「第7回青島錬成会」



市内競技者と全国の強豪選手が合宿を行う交流事業が、4年ぶりに青島小・中学校体育館で開催されました。

7回目となる今回は、松浦高等学校をはじめ、千葉県国際武道大学、兵庫県神戸松蔭女子大学、大分県別府大学から選手11人が参加し、島根県なぎなた連盟の板垣講師により稽古の指導が行われました。

参加した選手たちは、お互いに大きな刺激を受け、地域の人たちとも親睦を深めました。

10/4  
(水)

## 地元水産業にふれる

鷹島水産教室



県主催の水産教室が鷹島小学校の5年生12人を対象に新松浦漁業協同組合鷹島支所荷捌所周辺で開催されました。

この教室は、水産業の担い手確保や育成を支援する事業の一環として毎年開催されています。

児童たちは、定置網漁で獲れた魚や漁に使うロープの結び方、マグロの養殖について学習した後、鷹島で獲れた魚を使って調理実習を行うなど、五感で楽しみながら地元水産業について学びました。

10/8  
(日)

## 霧雨に浮かび上がる 幻想的な明かり

第15回土谷棚田の火祭り (ふくしまおいどんが町づくり会 吉永浩幸会長)



日本棚田百選の一つであり、日本夜景遺産にも認定されている福島町の土谷棚田で5年ぶりに火祭りが開催されました。

当日は冷たい小雨が降り止まないあいにくの天候のため、ステージイベントは中止となりましたが、点火は予定どおり行われ、市内外から幻想的な灯を見ようと約400人がカメラやスマホを片手に訪れました。

会場では、熱々のだご汁や土谷棚田で採れた新

米のおにぎりなどでお腹を満たしつつ、日の入りを待ちわびました。

午後5時30分、一般の体験者らによって灯された3千の灯籠が棚田を包み込むと夕闇の深さに反照しながら、浮かび上がる暖かな灯が訪れた人びとを魅了しました。

翌9日には約6千個のLEDが設置され、30分毎にオレンジとブルーに彩られる景色を14日まで堪能しました。

10/16  
(月)

## 会員みんなでまちを綺麗に

松浦市シルバー人材センター



同センターは、10月の全国シルバー人材センター事業協会普及啓発促進月間に合わせて、社会貢献活動の一環として市内8地区で公共施設などの清掃・除草作業を行いました。

現在の会員総数は204人、今回の奉仕活動には総勢103人の会員が参加しました。

10月16日には、志佐地区の会員12人が松浦スポーツセンター周辺の除草作業を行いました。道路沿いや施設裏の除草、植木の剪定が着々と行われ、作業から1時間ほどで見違えるほど綺麗になりました。

10/7  
~8

みんなでワイワイ

## 学び舎お泊り読書体験会

旧福島養源小学校 木造校舎



これは、国立青少年教育振興機構「子どもゆめ基金助成活動」の一環として、NPO法人山王学舎(成田鐘哲代表)が市と共催で開催しているものです。

当日は、市内の小学生が、1泊2日で読書体験、読書感想絵画の制作、校舎でのテント宿泊体験を行い、校舎内には、読書した本の内容を熱心に描く姿や普段と違う木造校舎で遊びながら、笑いあう子どもの声で溢れていました。

この体験は、今後も11月、2月、3月の3回開催される予定です。